

申命記 6:1-9 後世に残すもの

今朝は出エジプト記からの説教ではありません。先週、出エジプト記の最後まで読み終わりましたが、来週、この書全体について最後の説教をする予定です。ですが、今週は、子どもたちについて考え、彼らの上に神の祝福を祈る中で、子どもたちの親である皆さんに向けてお話をしたいと思います。ここには親ではない方々もおられますが、このメッセージは子どもがいるかどうかに関わらず、私たち全員に向けたものであることをお伝えしておきます。ご自分のお子さんがおられない方の多くが、教会の子どもたちのための奉仕に関わっておられます。職場や親族の中で、若い世代の人たちに影響を与えておられる方もおられるでしょう。与えられた場において、次の世代を育む役割を、私たち一人一人が真剣に受け止める必要があります。子どもがいるかどうかに関わらず、私たち皆が後世に何かを残したいと願っているからです。遺産、レガシーとは、次の世代に影響を与え続けることを成すことです。それは、他者に与えた影響が、あなたが去った後もその人たちを形作り続け、更にその人たちが自分が受けた影響を他者に伝えていくことで、あなたの影響力が1世代以上先まで感じられるものとなることです。今日の聖書箇所である申命記 6:1-9 では、親たちがまた、私たちすべての者が、この世を去るときにレガシーを残すことが神の御心であることをみます。

1-3 節を読むことから始めましょう。「これは、あなたがたの神、主があなたがたに教えよと命じられた命令、すなわち掟と定めである。あなたがたが渡って行って所有しようとしている地で、それらを行うようにするためである。2 それは、あなたの一生の間、あなたも、そしてあなたの子も孫も、あなたの神、主を恐れて、私が命じるすべての主の掟と命令を守るため、またあなたの日々が長く続くためである。3 イスラエルよ、聞いて守り行いなさい。そうすれば、あなたは幸せになり、あなたの父祖の神、主があなたに告げられたように、あなたは乳と蜜の流れる地で大いに増えるであろう。」出エジプト記では、神がモーセに初めて律法とその基礎となる十戒を授けられたのを学びました。申命記の大部分で、モーセは自分の死を前にして、神の律法を繰り返し述べ、民がそれを守るようにと励ましています。神の律法を知るだけ、それらを与えられただけでは不十分でした。民はそれを守り行わなくてはなりませんでした。ここにいる私たちのほとんどは、スマホに聖書アプリを入れておられるでしょう。もしかしたら複数のアプリを入れているという方もおられるかもしれません。また、家にも1冊か2冊、あるいはそれ以上の聖書を持っています。神のみ言葉を、そこに記されたすべての戒めと私たちに期待されていることを手にしていますが、問題はそこではありません。私たちのほとんどが抱えている問題は、その言葉に従わないことです。ですが、神のみ言葉に従うことによってでなければ、価値あるものを子どもたちに残すことができません。なぜ、従うことによってレガシーを残すのでしょうか。従うことがもたらす影響は、従う本人だけにではなく、2 節にあるように「あなたも、そしてあなたの子も孫も」受けるのだということに注目してください。それは3 世代が主を恐れることを学ぶことに始まり、その後何が起こると記されているでしょうか。再び2 節には「私が命じるすべての主の掟と命令を守るため」とあります。これは神に従うこと以外の何物でもありません。ある世代が前の世代が神に従う姿を見ることで、その2 番目、3 番目の世代もまた神に従うことの励ましとなるのです。

ですが、これは意図的な従順であることに注目してください。3 節には「聞いて守り行いなさい。」とあります。自然に従うことができるわけではありません。教会に来て、神のみ言葉に耳を傾けるだけで、自然と従順になるわけではありません。聞いたことに従うためには、意図的に注意深く従おうとする必要があります。例えば、土曜日の夜に、日曜日の朝、家族を起こして、礼拝に間に合うよう計画しなければ、次第に礼拝に出席しなくなることは簡単でしょう。神の民が定期的に集まることなしに、信仰を子どもたちに伝えていくことは難しくなっていくでしょう。私たちが考えるべき、従うべき領域は多岐に渡ります。出エジプト記で見てきた戒めと、申命記で再びモーセが述べている戒めをすべて思い起こしてください。皆さんが不誠実だったり、他人のうわさ話や陰口を言っているとき、子どもたちはそれを見て、私たちが想像する以上のことを理解しています。テレビを見ているとき、あなたと子どもたちの目の前に映し出される罪を

正すことなく、あなたが見過ごすのを、子どもたちは見えています。もちろんこの世にあって避けられないことではありますが、そこに描かれていることが罪であることを明確に伝えるために、皆さんはどうされるでしょうか。先日電車に乗りました。JRの路線で、車両にあるテレビで広告やニュース記事が流されている車両でした。大抵は特に問題ない内容で、半分はニンテンドーのゲームの宣伝に思えるような内容でした。ですが、一つ、どうやら新しい同性愛を扱ったテレビドラマの宣伝のようで、男性同士のキスシーンまで映し出されていました。親としては、子どもがそれを目にしたとき、少なくとも、そうしたことは結婚した男女の間ですることが神のご計画であることを子どもに理解させるようきちんと対応するべきです。この世から来る影響を正すために、そのように意図的に従う時がなければ、私たち親や大人が世が教えているものに対抗する信仰のレガシーを後世に伝えていくことは困難です。学校で何が教えられているのかを知っておられますか。また、社会が私たちに勧めるものではなく、神のみ言葉に従うために、神のみ言葉に照らしてそうした事柄について話す時間を持っているのでしょうか。

従うこととは、多くの点で「教えられる」よりも「見倣われる」ものです。子どもたちは親の行動をお手本にします。エペソ人への手紙 6:1-4 に記されているのはまさにこのことです。「子どもたちよ。主にあって自分の両親に従いなさい。これは正しいことなのです。2 「あなたの父と母を敬え。」これは約束を伴う第一の戒めです。3 「そうすれば、あなたは幸せになり、その土地であなたの日々は長く続く」という約束です。4 父たちよ。自分の子どもたちを怒らせてはいけません。むしろ、主の教育と訓戒によって育てなさい。」子どもたちは従うよう教えられています。それは従うということが、まさに私たちが神に対して応答する姿であるからです。つまり、子どもがその親に従う姿は、私たち一人一人が神に応答する姿、すなわち従うということを表しているのです。ですが、従うと言うことは一方的なものではありません。もし私たちが子どもたちに従うことを求めるなら、その子どもを育てる過程で、私たち自身が従うことの模範を示さなくてはなりません。子どもたちとの関りにおいて、私たち自らが誠実でなければ、従うことに伴うはずの敬意を子どもたちから期待することはできません。もし私たちが怒りっぽい人間で、子どもたちの怒りを買うような態度を示すなら、子どもたちは従わないということで罪を犯しているかも知れませんが、私たちの側も彼らとの接し方において罪を犯しているのです。罰を恐れるからではなく、正しい心で、子どもが従うことを望むなら、私たちが子どもとどう接するか、子どもの前で配偶者にどのように接するかによって、神に対する従順さの模範を示す必要があります。単に正しい行動を求めるのではなく、心から神に従う姿勢を育てたいのです。そうでなければ、子どもが成長して家を離れるとき、子どもたちは自分たちの人生における神の支配を拒むことでしょう。正しい心の伴わない正しい行いは律法主義でしかなく、恵みに基づいた福音ではありません。親として、ただ子どもを規則に従わせようとするのではなく、エペソ 2:8-9 にある真理を体験させようとするべきです。「この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。9 行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。」十戒に従ったとしても、神の好意を得ることはできません。この箇所では、地において祝福が何らかの形で与えられるように思えます。神の基準に従って生きようとする者に長寿や、何らかの物質的祝福さえもです。これは、親を敬うことは良いことだと信じている、まだ救われていない人も同じでしょう。どこまでそう言えるかは不明ですが、日本のように年長者や家族を敬うことが社会に根付いている国では、世界でも有数な長寿が実現しています。ですが、それは救いとは別物です。私たちは常に、規則に従うことによってではなく、イエス・キリストを救い主として信じる信仰を与えてくださる神の恵みに対する応答として、神に従うことによって、真の信仰を次の世代へとつなげていかななくてはなりません。

この神に対する真の信仰こそが、4-9 節に示されていることです。「4 聞け、イスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。5 あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。6 私が今日あなたに命じるこれらのことばを心にとどめなさい。7 これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家で座しているときも道を歩くと

きも、寝るときも起きるときも、これを彼らに語りなさい。 8 これをしるしとして自分の手に結び付け、記章として額の上に置きなさい。 9 これをあなたの家の戸口の柱と門に書き記しなさい。」この箇所は「シェマー」「4 聞け、イスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。」と始まります。これは今日でも敬虔なユダヤ人によって毎日繰り返されています。その目的は、単に従うことではなく、神を知り、神への愛の心から神に従うことです。そして、この箇所の要点は、私たちは神のみ言葉を通して従うことを学ぶのだということです。もし、この地上での人生よりも長く続く、神への従順というレガシーを残すとするなら、神にどのように従えばよいのか、また神が私たちに何を成させたいのか、どのように生きることを望んでおられるのかを知る必要があります。その知識は神のみ言葉を通して得られます。ですから、もし神の言葉を知り、その知識を子どもたちに伝えたいのなら、生涯をかけて自らを神の言葉で満たす必要があります。また6節にあるように、み言葉が私たちの頭から心にとどまることを望むなら、み言葉を日常的に絶え間なく、生活の糧としなくてはなりません。7節には、これが実現するために、私たちが子どもたちに教えなくてはならないという明白な事実を指摘しています。さて、何かを教えるなら、まず自分がそれを知っていなければなりません。神学校に行く必要はありませんが、皆さんは「牧師に聞いて」とか「日曜学校の先生に聞いて」などと言うのではなく、聖書を開いて子どもたちに神のみ言葉が何を語っているのかを説明できるよう、神のみ言葉を学んでおられるでしょうか。もちろん、そのように質問することは親にとって良い選択肢ではありませんが、ぜひお子さんと一緒に牧師や日曜学校の先生のもとへ行って、質問することを通して学んだことをお子さんと話し合えるようにしましょう。そうすることで、神のみ言葉の理解を深めたいという願いから、子どもたちと共に学びながら、教えることができます。教会が子どもたちを教える主な役割を担うのではなく、親である皆さんがその役割を担うのだということを忘れないでください。

ですが、これは単に形式的に教える以上のものであることに目を向けてください。7節には「あなたが家で座っているときも道を歩くときも、寝るときも起きるときも、これを彼らに語りなさい。」とあります。皆さんは絶えず子どもたちに神のみ言葉について語り、聖書に向かわせ、霊的な会話を交わしておられるでしょうか。それが難しいことは重々承知しています。ベスと私も親です。そのような会話を持つのは容易なことではありません。マインクラフトやマリオ、鬼滅の刃、ワンピースなどについての会話を神のみ言葉についての学びや、どうしたらもっと神に従えるようになるかといったことを話す機会へと変えるのは容易ではありません。ですが、それが私たちが目指すべきことです。会話のきっかけを探すということは、子どもたちと会話する必要があります。家や車の中でみ言葉に基づいた音楽を流せば、そのような会話のきっかけが生まれます。家族で共に集い、聖書を読み、共に祈る礼拝の時間を持つことは、すべての家庭が目指すべき目標であるべきです。それは、私たちの教会規約に記されているほどに重要なことです。長時間である必要はなく、日によってはそうした時を持つことが難しいこともあれば、全く実現できない日もあるでしょう。それでも皆さんはそうした時間を持つと努力されているでしょうか。重要なのは、子どもたちや私たちが影響を与えることのできる人たちに、聖書について語ることで、彼らの人生が神のみ言葉で満たされる助けになるということです。8節と9節では、例えとして、み言葉を体や家の壁に記すことが語られています。熱心なユダヤ教徒の中には、これを文字通り受け止め、聖書箇所を収めた「テフィリン」の箱を腕や頭に結び付ける人もいます。ですが、これはそのような意味ではないと思います。聖書を身に着ける必要はありません。とはいえ、おそらくほとんどの人はスマホに聖書アプリを入れておられると思います。いつでもすぐに取り出せるよう、身近に置いておく必要があります。携帯電話はそれを可能にしてくれます。聖句を壁に貼っておられる方もいます。神のみ言葉が家庭の中心にあることを思い起こすために良い方法だと思います。ですが、重要なのは、常に様々な形で、神のみ言葉が私たちの生活の中心であり、子どもたちや私たちが影響を与える人たちとの関りの中でも中心になくはないということです。私たちの祈りは、子どもたちがみ言葉を聞くと、神がそのみ言葉を用いて、聖霊の力を通して、イエス・キリストへの真の信仰を彼らの内に生み出し、神のみ言葉に従うようになることです。お父さんやお母さんが従っているから自分も従うということではな

く、彼ら自身が心から罪を悔い改め、信仰によってイエス・キリストを主であり救い主として受け入れたことから従うことです。

今日ここにおられる皆さんの中には、子どもも大人も、そのような従順への最初の一步を踏み出す必要がある方がおられるかもしれません。その最初の一步とは福音に従うことです。テサロニケ人への手紙第二の 1 章では、罪人を罰し、信じる者を報いるためにイエスが再臨されることが語られています。そして 8 節には次のようにあります。「主は、神を知らない人々や、私たちの主イエスの福音に従わない人々に罰を与えられます。」罪人で、創造主である神に罪を犯した私たちは、神との関係を回復するために救い主を必要としているとする福音に従うことは、罪を悔い改め、主であり救い主であるイエス・キリストに従うことを意味しています。イエスはあなたの罪のために死なれました。彼に従うということは、その事実を信じ、信仰によって彼を受け入れることです。もしそれを拒むなら、私たちは自らの罪にふさわしい神の怒りに直面することになります。私たちがイエス・キリストを知っているならば、聖霊が与えられ、実際に神を恐れることができるようになります。私たち自身、また子どもたちの内にみ言葉を満たすことで、従うという形で現れる主を恐れる心を次の世代に繋げていくことができますように。それこそが、皆さんの子どもたちが受け取ることのできる最大の祝福であり、皆さんが残すことのできる最高のレガシーです。祈りましょう。

Deuteronomy 6:1-9 Leaving a Legacy

This morning the sermon is not from Exodus. We finished the rest of the book last week, and I will preach one final sermon covering the entire book next week. But this week, as we think about our children and praying for God's blessing on them, I want to take the opportunity to speak to parents. But for those who are not parents in here, I want to quickly say that this message is for all of us, whether we have children or not. Many of you who do not personally have children work with our children here at church. You influence young people or younger people at work or your extended family. Each of us needs to take seriously our role in shaping the next generation in whatever role we have in that. Because whether we have children or not, we all want to leave a legacy. A legacy is the good you have done that influences others beyond your grave. It is the influence you have had that shapes other people and continues to shape them even after you have gone, and they pass that influence on to others in a way that makes your influence felt even more than one generation later. In our passage today, in **Deuteronomy 6:1-9**, we see God's plan for parents and all of us to leave a legacy in this world when we die.

Let's begin by reading verses 1-3. **6 "Now this is the commandment—the statutes and the rules^[a]—that the LORD your God commanded me to teach you, that you may do them in the land to which you are going over, to possess it, ² that you may fear the LORD your God, you and your son and your son's son, by keeping all his statutes and his commandments, which I command you, all the days of your life, and that your days may be long. ³ Hear therefore, O Israel, and be careful to do them, that it may go well with you, and that you may multiply greatly, as the LORD, the God of your fathers, has promised you, in a land flowing with milk and honey.** We have been studying Exodus and seeing where God first gives Moses his law and the foundational Ten Commandments. Most of the book of Deuteronomy is Moses repeating God's law at the end of his life, right before his death and encouraging the people to keep it. It wasn't enough just to know God's rules, or even be in possession of them...they had to **DO THEM!** Most of us in here probably have a Bible of some sort on our phone or maybe more than one. We have a Bible or two or more sitting at our house somewhere. We possess the Word of God, and all the commandments and expectations it contains, that's not the problem. The problem most of us have is we don't obey it. But it is in obedience to God's Word that we pass on a worthwhile legacy to our children. Why do I say that **We leave a legacy through obedience?** Notice the impact that this obedience has on not just the person originally doing the obedience, but as verse 2 says, **you, your son and your son's son...** That's three generations to start with learning to fear the LORD God, and how does it say it happens? Again verse 2, **"by keeping all his statutes and his commandments..."** That is obedience to God! When one generation sees the previous generation following God, there is encouragement for that second and third generation to follow and obey God as well.

But notice that this is planned obedience. Verse 3 says, **Hear therefore... and be careful to do them...** Obedience won't just happen. You won't just come to church, listen to God's Word and naturally start obeying. It will take intentional carefulness to plan to obey what you hear. For one example, if you don't plan on Saturday night to get your family up on Sunday morning and have everything ready to go to worship on time on Sunday morning, then it will be easier and easier to not attend. And without the regular gathering of the people of God, it will be difficult for you to pass on your legacy of faith to your children. There are many areas of obedience for us to consider. Think of all the

commandments that we covered in Exodus and that are being recounted by Moses here in Deuteronomy. Your children are watching and see more than you think when you are dishonest or when you are talking and gossiping about others. Your children are watching when you let something come on television and watch with no correction to sin that is put in front of your eyes and their eyes. Of course in the world that is inevitably going to happen, but how are you going to address it so that it is clear that what is portrayed is sin. I was on the train the other day, and it was one of the JR line trains with the Television running ads and news articles. Generally, those are pretty inoffensive....half of them seem to advertise Nintendo games! But they were advertising I guess for a new TV drama that revolved around homosexuality, and it even showed scenes of two men kissing. A parent has to address that when your child sees it if nothing else to reinforce that God's plan is for that to happen between a man and woman who are married. Without those kind of intentional moments of obedience to correct the world's influence, it will be difficult for us as parents and adults to pass on a legacy of faith against what the world is teaching. Do you know what is being taught in school, and are you having conversations about those things in light of God's Word and obeying what he says rather than what society promotes?

Obedience is in many ways more "caught" than "taught." Children will model what they see you do. This is what we see when we look at [Ephesians 6:1-4](#). [Children, obey your parents in the Lord, for this is right. 2 "Honor your father and mother" \(this is the first commandment with a promise\), 3 "that it may go well with you and that you may live long in the land." 4 Fathers, do not provoke your children to anger, but bring them up in the discipline and instruction of the Lord.](#) Children are told to obey, but its specifically because it is how we are supposed to respond to God, in obedience. So, a child's obedience to their parents models what each of our response to God is – also obedience. But obedience is a two way street...if we expect their obedience, then we have to model obedience in how we raise that child. We cannot expect the honor that should come with that obedience if we ourselves are not honorable in how we interact with our children. If we are an angry person who treats them in such a way that it leads to their anger against us, they may be sinning by not obeying, but we are sinning in our treatment of them. We need to model the obedience to God by how we treat them, and how we treat our husband or wife in front of them if we expect that child to obey us in the right spirit rather than out of fear of punishment. We don't just want right actions, we want a heart that actually follows God. Otherwise, when that child grows up and leaves our home, they will also reject God's rule in their lives. Right actions without a right heart is legalism and not the gospel which is based on grace. As a parent you are not just trying to get them to follow rules, but to experience the truth of [Ephesians 2:8-9](#). [8 For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, 9 not a result of works, so that no one may boast.](#) None of their obedience to the Ten Commandments will earn them favor with God. In this passage, it does seem like blessing will come in some form here on earth – long life and even material blessing of some sort for those who try to live by God's standards. This could apply I believe to an unsaved person who believes that honoring their parents is a good thing to do. I don't know how far you can take this, but in a society like Japan, where respect for Elders and family is built into society, you see the result in some some of the longest lifespans on earth. That is not the same as salvation, though. And we need to always try to pass on a legacy of real faith in God through Jesus Christ not based on

following rules but obedience in response to God's grace shown us in saving us by the faith he gives us to believe in Jesus Christ as our savior.

This real faith in God is what we see as verses 4-9 continue. ⁴“Hear, O Israel: The LORD our God, the LORD is one.”^[b] ⁵You shall love the LORD your God with all your heart and with all your soul and with all your might. ⁶And these words that I command you today shall be on your heart. ⁷You shall teach them diligently to your children, and shall talk of them when you sit in your house, and when you walk by the way, and when you lie down, and when you rise. ⁸You shall bind them as a sign on your hand, and they shall be as frontlets between your eyes. ⁹You shall write them on the doorposts of your house and on your gates. These verses begin with the “Shema”...

⁴“Hear, O Israel: The LORD our God, the LORD is one. This is repeated daily by observant Jews even today. The goal is not simply to obey, but to know God, and obey him out of a heart of love for God. And the point of these verses as this passage continues is that **we learn obedience through the Word of God**. If we are trying to pass on a legacy of obedience to God that will last longer than our lives here on earth, then we need to know how to obey God and even what it is that he wants us to do and how he wants us to live. Knowing that comes through God's Word. So, if we are to know God's Word and pass the knowledge of God's Word to our children, then it will take a lifetime of saturating our lives with the Word of God. If we want God's Word to get from our heads and into our hearts as verse 6 talks about, then we must have it as a regular and constant part of our lives. Verse 7 point out the obvious for this to happen, we have to **teach** it to our **children**. Now, if you are going to teach something, then you have to know it! You don't need to go to Seminary, but are you learning God's Word yourself so that rather than saying, “Go ask the pastor” or “go ask your Sunday School teacher”, you can open the Bible and explain to them what God's Word is saying? Now of course, those are valid and can be valuable options for a parent, but go with your child so you can discuss with that pastor, that Sunday School teacher, what you learned by asking that question. Now you are learning with them and teaching them by your desire to improve your knowledge of God's Word. Remember, the church is not the primary discipler of your children, as a parent, you are!

But notice that it's far more than formal teaching. Verse 7 says, **talk of them when you sit in your house, and when you walk by the way, and when you lie down, and when you rise**. Are you constantly talking to your children about God's Word, pointing them to Scripture, simply having spiritual conversations with them? Believe me, I know it's hard! Beth and I are parents, too. It's not easy to have those conversations. It's not easy to turn a conversation about Minecraft or Mario or Kimetsu no Yaiba or One Piece into an opportunity for learning about God's Word and how to be more obedient to God. But that is what we should be trying to do...look for openings in conversations, which means you need to have conversations with your children. Music can open these conversations if you use Bible based music around your house or in your car. Regular family devotion times where you sit and read the Bible and pray together should be the goal for each family. It's important enough that it is in our church covenant. They don't need to be long, and some days will be more difficult than others or they may not happen at all, but are you trying? The point is that talking about the Bible to our kids and to those we have influence over will help saturate their lives in God's Word. Verses 8 and 9 talk about putting Scripture figuratively on our bodies and the wall of our home. Some practicing Jews will take this literally and tie “tefillin” boxes to their arms and heads containing

passages of scripture. I don't think that is what this is talking about. You don't need to have a Bible attached to you, although most of you probably have one on your phone. You need to have it near you ready at all times. Yes, our phones make that helpful. Some people do put Scripture up on their walls, which can be a good reminder of the centrality of God's Word in our families. But the point is that at all times and in many different ways, the Word of God needs to be central to our lives, and central to the interactions we have with our children and those we influence. Our prayer should be that God would use the Word of God as our children hear it to work through the power of the Holy Spirit to create real faith in them in Jesus Christ that results in obedience to God's Word. Not obedience just because mom and dad are obedient, but because they have genuinely repented of their sin and accepted Jesus Christ by faith as their Lord and Savior.

Some of you in here today, both children and adults may need to take that first step of obedience. That first step is to obey the Gospel. [2Thessalonians 1](#) talks about Jesus's second coming to punish sinners and reward believers, and it says in [verse 8](#) that he will come "in flaming fire, inflicting vengeance on those who do not know God and on those who do not obey the gospel of our Lord Jesus." Obeying the gospel, which says that we are sinners who need a Savior to restore us to a relationship with God our Creator who we sinned against, is repenting of sin and following Jesus Christ as our Lord and Savior. He died for your sin, and to obey him is to believe that and accept him by faith or face God's wrath we rightfully deserve for our sin. When we know Jesus Christ we are given the Holy Spirit who empowers us to actually obey so [that \[we\] may fear the LORD \[our\] God](#). May we pass this fear of God as demonstrated in obedience onto our children by saturating our lives and theirs in the Word of God. That is the greatest blessing your children can receive from you and the greatest legacy you can leave behind for them. Let's pray.